

令和6年度 学校関係者評価

令和7年3月3日

船橋市立葛飾中学校

本年度、本校の部会は、学習指導部、研究研修部、道徳指導部、特別活動指導部、生徒指導部、GIGA SCHOOL研究部、管理部および教務事務部を設置した。

それぞれ学校評価結果をもとに振り返りを行い、次年度に向けた具体案について検討した。

また、学校運営協議会委員の意見や感想を参考に、次年度につなげ「よりよい学校」を目指したい。

1. 各部会より

【学習指導部】

<学習指導（教科指導）>

- (1) 1～3学年生徒アンケート（10）「授業は楽しく、わかりやすいですか。」の質問に対して、各学年、約80%の生徒がABを回答しているのに対して、保護者アンケート「授業は楽しく、わかりやすいと言っている。」では、ABを回答しているのは52%となっており、隔たりがある。家庭で行事などに関しては、会話をもちやすいものの、日頃の授業に関してはあまり話題にあがることのないのではないだろうか。
- (2) 《学習予定表について》
年間4回学習予定表を発行し、教室掲示と保護者メールで発信したが、生徒があまり見ている様子がないとの指摘があった。来年度は、Classroomにもアップすることで生徒の目に触れやすくすることを検討している。
- (3) 《テストについて（定期テスト・単元テスト）》
全学年統一書式の個人成績表（グラフ、反省記入欄）を作成し、運用した。教科ごとの詳細がわかるため、より詳しく結果を伝えることができた。別室登校生徒や不登校生徒、欠席生徒の扱いについて共通理解を図り、配慮している。
- (4) 《学習支援について（夏休み学習会、テスト前学習会）》
 - ①夏休み学習会は、各学年2日ずつ、合計6日間、葛の葉サポーター協力を得て実施した。生徒からも好評であった。もっと日数を増やせると良いのだが、現時点では、教員の確保がぎりぎりであり、来年度も同じ日数で実施の予定である。また、葛の葉サポーターだけでなく、近隣の高校生にもボランティアの呼びかけを検討している。
 - ②テスト前学習会は各学年ごとに日にちや場所、時間を設定し実施した。諸活動停止期間中はあまり参加する生徒がいない実態があるため、来年度は1週間前頃にも放課後学習会の設定を検討中。また、このときにも葛の葉サポーターの協力を得られたらお願いしたい。
- (5) 《日本語指導について》
 - ①外国籍生徒が増加し、日本語指導の時間の枠がいっぱいである。現在、定期テストの時に葛の葉サポーターの協力をえているが、日常の時間の中でも協力をお願いしたい。

②現在、任意であるが、毎週金曜日の放課後、学習の補習を実施している。来室生徒が少ないので、来年度は担任からも声かけするなどしていく。

(6) 《学校図書館教育について》

朝読書を継続しており、読書に親しんでいる。図書室の管理も行き届いており、昼休みなど生徒が利用している。

(7) 《保護者・地域連携について》

葛の葉サポーターの協力が非常に助かっている。非常にありがたい。来年度も継続、また、違う場面での手助けをお願いしていきたい。

【研究研修部】

＜研究・研修＞

- (1) 研究の方向性が明確になり、全校で共通理解を図ることができた。具体的には、「国際理解教育」を提唱したユネスコが「世界の人々が国を越えて理解し合い協力し、世界平和を実現すること」を理念としていることを踏まえて、「地球市民として、私は世界平和にどう関わることができるだろう？」という葛飾中学校独自の合言葉を設定し、この問いに対して総合的な学習の時間で探究学習を進めていくこととした。発展的なカリキュラムを設定できるように、第1学年「身近な地域と広い世界を知る」、第2学年「世界の課題を自分事として捉える」、第3学年「地球市民としての生き方を探究する」というテーマを設け、総合的な学習の時間を展開した。
- (2) 研究主題である「グローバル社会で求められる資質の育成」の資質とは何かを研究研修部で検討し、①違いを理解し尊重する力、②課題解決力、③コミュニケーション力、この三つの力の育成を目指すものと設定した。
- (3) 上記内容の共通理解を図るため、職員対象の職員研修を2回、全校での国際理解教育集会を2回開催した。
- (4) 第1回国際理解教育集会は9月に開き、葛飾中学校が目指す国際理解教育について全校で共通理解を図ると共に、昨年度までカタール日本人学校に務めていた玉置先生から、中東での生活等について講演をしてもらった。第2回国際理解教育集会では、各学年で取り組んできた総合的な学習の時間の内容を、各学年代表生徒が発表することで、生徒同士が学びを共有し合い、進級後の学習のイメージをつかむという目的を達成することができた。また、本集会の記念講演として、ごみ問題に対する啓発活動を行っているお笑い芸人マシンガンズの滝沢秀一氏を招くことができた。
- (5) 来年度から使用を検討しているグローバルキャリアシートを作成することができた。
- (6) 生徒及び職員対象のアンケート調査を行い、丁寧な分析をすることができた。
- (7) 研究の方向性を軸に、具体的な活動内容を精査していく。第2回職員研修で発表した各学年の総合的な学習の時間の実践を引継ぎ、ブラッシュアップしていく。
- (8) 来年度赴任される先生方、新入生にも葛飾中学校が目指す国際理解教育について共通理解を図るため、年度初めに説明する機会を設ける。
- (9) 外部機関との連携や外部講師を積極的に活用する。

(10) 来年度の中間発表に向けて、計画的に準備を進める。

(11) 国際理解教育への意識が途絶えないよう、総合的な学習の時間はもちろん、各教科や行事等でも触れていけるよう、職員の連携を図る。

【道徳指導部】

＜道徳指導＞

- (1) ローテーション道徳は多くの先生方や生徒から好評だった。ローテーションの組み方や担任道徳とのバランスを考えて、来年度も実施していきたい。
- (2) 道徳指導部で学んだことを学年会や職員会議等でも伝達していきたいと思います。また、校内授業研究の授業参観や事後検討会への参加も大歓迎である。研究研修部の先生と相談して研修会の先生と相談して研修会を開催したい。
- (3) 22の内容項目が全て網羅できるように今後とも授業時数確保へのご協力願いたい。
- (4) 校内授業研究で学ぶ機会を多く設けることができた。(指導課の先生による模範授業)
- (5) 各学年の先生方のご協力で、授業数の確保はできた。
- (6) 各学年でローテーション道徳を行い、授業力の向上を図った。
- (7) 来年度の方向性として、①国際理解教育の研究を意識した授業の展開。②道徳講演会の実施(内容は要検討)。③今年度同様に、授業時数の確保やローテーション道徳等を行っていく。

【生徒指導部】

＜生徒指導＞

- (1) No.32について、(昼休み・下校時)生徒についているが、決めた担当通り動いていないところがある。→各学年で分担を確認。
- (2) 生徒指導部で話した内容を共有する(ファイル、学年日報の活用)
- (3) 担任の引き継ぎと親の考えが合わない。(小学校担任の方から出てこなかった)→①新入生説明時、不安なことは相談するよう伝える。②小学校にも伝えてほしいと言う。③大きく環境が変わることを保護者に伝える。

【特活指導部】

＜特別活動＞

- (1) 教職員アンケートから、昨年度よりも生徒が主体的に活動できていると感じている教員が多いことがわかった。また、生徒の提案を受け入れた委員会活動もできているという意見もあった。
- (2) 委員会の実施方法について、委員会の2日後に中央委員会、その2日後に委員会報告という流れにすることで、活動の明確化をできるのではないかと考える。
(火＝専門委員会、木＝中央委員会、月＝委員会報告) 報告後に活動を開始できると望ましい。活動期間を設け、委員会ごとにずれないように統一を行う。
- (3) 行事は昨年度と同様に実施する。

【G I G A S H O O L 研究部】

＜情報教育＞

- (1) 概ねよくできているので、今後も継続してICT機器利用を推進する。また、「いつ、どのように使うか」を追求し、より効果的に機器を使えるように指導していきたい。

【管理部】

- (1) 今年度は安全点検および避難訓練の充実を図った結果、全体で概ね90%を超える高評価を得ることができた。このことは、生徒の安全意識の向上に寄与し、学校全体の安全管理体制が強化されたことを示している。さらに、美化活動においては、昨年より掃除道具の充実化を図った結果、A評価が昨年の倍以上となり、評価が少し上向いた。
- (2) 来年度は、さらなる安全指導の強化をめざしたい。具体的には、生徒指導部と連携し、下校指導の分担を行い、より効果的な指導を実施していく予定である。また、美化指導に関しては、教員とのコミュニケーションを強化し、現状を正確に把握するための調査を定期的実施していく。これにより、指導の改善に必要なニーズを明確にし、より効果的な指導方法を模索する。
- (3) 指導部のコミュニケーションを促進し、情報共有を徹底します。定期的な会議やワークショップを通じて、全体の連携を強化し、業務の効率化を図る。
- (4) 各活動後に教員および生徒からのフィードバックを受け付け、その結果を基に次回の活動に反映させる仕組みを模索する。
- (5) 安全指導や美化活動に関する研修を定期的実施し、教員のスキル向上を図る。これにより、指導内容の質を高め、生徒への影響を最大化する。
- (6) 今年度の成果を基に、来年度は更なる安全指導の強化と美化指導の充実を図る。教員間の連携やコミュニケーションの向上を通じて、学校全体の教育環境をより良いものへと進化させていく。

【教務事務部】

＜教育課程・教科指導＞

- (1) 生徒や教員からのアンケートを通じた意見を基に、テストの実施方法を昨年度から変更した。入試を想定した外部テストや普段の授業の習熟度を測る教員作成テスト、双方のメリットを活かした形式での実施は生徒や教員から一定の評価を得ることができた。次年度以降以降も継続し、生徒の意欲向上や教員の授業改善を図っていきたい。
- (2) 昨年度以上に、保護者への情報発信をメール配信やホームページでのアップを主軸にすることができた。一方で紙媒体での配付等もあり、情報発信方法が複数あることにより、混乱を招くと考える保護者も存在する。しかし、もれなく情報発信していくために、絞ることは難しいが、確実に届く方法を考えていきたい。
- (3) 今年度は放課後の時間確保を目的に時程の見直しを行い、10分の短縮を行った。年間を通して、大きな混乱は見られずに生徒は過ごすことができた。次年度以降も継続し、短縮が可能な時間帯があれば図っていき生徒や教員の負担を軽減していきたい。

- (4) 研究研修部主導のもと国際理解教育集会や総合での探求学習を通して、世界視野に立った生徒の育成を目指した教育活動の計画と実践することができた。次年度以降も研究研修部と道徳指導部といった他部会とタイアップし、生徒の多様な視点や価値観の醸成、資質の向上につながるよう教育課程を編成していきたい。

2. 学校運営協議会委員の方々より（学校関係者評価）

<教育目標について>

- 「挨拶」について習慣として指導すると共に、意味や効能について教職員間や生徒間で話し合うことが必要だと思います。
- 社会に出てからも「挨拶」は大事なので、最低限「挨拶」がしっかりできるようになるとよいと思います。

<組織運営について>

- 大規模校であるが故、どうしても連絡・調整がスムーズにならないのだと思います。改善は見受けられますが、引き続き努力事項ですね。
- 職員室が分かれていると教員の連携が難しいのではないかと。

<教育課程・学習活動>

- 概ね達成しているようであるが、評価などへのご苦勞がコメントからわかる。時間が限られている中での業務がいかに大変であるかを、今後も国や行政へ言い続ける必要がある。

<研究研修>

- 研修研究活動は充実しているようで何よりです。
- 時間が限られている中で、努力されていることがわかりました。

<道徳指導>

- 概ね良好だと思われます。

<生徒指導>

- 外部機関との連携がとれている。
- SC(スクールカウンセラー)を有効に活用してください。
- 制服に関連する指導の統一、内容の理解、情報の共有、保護者への説明の徹底を図ってください。
- マナー、ルールなどは生徒が理解できていないなら、特に服装についてはブレザーなどの着用について、講師を招いてマナーレッスンを取り入れてはどうか。高校で行われたのを聞き良いと思いました。

<特別支援教育>

- 集団の中で個を認め、個を生かす実践ができているとすれば素晴らしいことだと思います。
- 保護者からの満足度は高いのですが、先生方には負担がかかり過ぎているように感じます。
- かわりについて(時間など)ご負担になっていると感じます。補助(サポート)員はいないのだろうか。

<特別活動>

- 組織のしくみ(活動のあり方)についてわからない生徒が多いため、苦勞が多いのだと感じた。
- 生徒の提案を取り入れ、主体性を高める取り組みが素晴らしいと思います。ぜひ今後も続けてもらえたらと思います。

<情報教育>

- 本を読む機会を大切にしてほしい。
- 多くの文章を読むことで国語力の向上は図れると思います。SNSによる弊害や読書の意義と効用を生徒に語ってほしい。

<保健管理>

- 救急時の治療方法(特に熱中症対応)を保健体育等の授業で教えられませんか？
- 大規模校で限られたなかで、先生方はよくやってくださっていると思いました。
- 応急処置の方法はぜひ教員の全員が学んでもらえたらと思います。

<安全管理>

- トイレや外階段など修繕が必要な箇所が多々ありそうです。
- 学校内における危険箇所の再認識と共通認識をお願いします。
- 美化指導については価値観のちがいもあると思います。意識をもって向きあわれていることがわかりました。
- 避難訓練を工夫してやっているのですね。

<保護者・地域連携>

- 自己評価はかなり高評価です。保護者の評価と結びつくとよりよいと思います。
- 先生方が負担にならないよう上手に活用してほしい。保護者の意識が学校ばかりに向いているわけではないので難しい面もあると思う。
- PTA、葛の葉協力隊と先生方が連携をとっていけると良いと思います。

～多くの貴重なご意見ありがとうございました～

保護者の皆様、学校評議員の皆様には、葛飾中生徒の健やかな成長を心から願い、アンケートに真剣に答えて頂きました。ありがとうございます。その中には教職員の指導や取り組みに対し、励ましのお言葉を頂いたものもあり感謝申し上げます。

今後も、このアンケートから伝わる皆様の願いに応えるべく、教職員が一丸となって、真摯に児童の育成や教育に取り組み、保護者の皆様と手を携え、地域の皆様と肩を組みながら邁進していく所存です。今後ともよろしく願いいたします。